

令和 3 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団

令和3年度 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団 事業報告

はじめに

茅ヶ崎市社会福祉事業団の理事長に就任して3ヶ年度目となりました。平素より当事業団の運営につきましては、利用者の皆さまや保護者の皆さまをはじめ、関係各所の皆さま方には格別のご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

また、令和3年度も新型コロナウイルスに翻弄された1年でありましたが、幸いにして当事業団の施設ではクラスターとなる事案を発生させなかったことについては、職員の皆様のご尽力、そして利用者とそのご家族の皆様のご理解、ご協力によるものであり、心から感謝いたしております。

様々な制限が継続されていたなか、コロナ禍以前と同様の活動や行事・イベントへの参加はできず、一部縮小せざるを得ない状況ではありましたが、社会福祉法人の責務として、利用者の高齢化や障害程度の重度化への課題に対応しつつ福祉サービスを継続提供し、第3期中期経営改善計画に基づいた事業運営にあたってまいりました。

特に、指定管理事業に関する市への提言、独立採算性を意識した事業展開や業務の効率化を実行するとともに、福祉人材の確保・育成の観点から非正規職員の嘱託化や正規登用制度の活用など、経営改善に資する取り組みにより所期の成果をあげることができました。

新型コロナウイルス感染症は、未だ先の見えない状況ではございますが、当事業団の福祉サービスを利用される皆さまの「安全・安心」を第一に、引き続き感染予防、拡大防止対策に全力で取り組みつつ、今後も福祉サービスの事業継続とサービスの充実に向けた事業所の整備、人材の確保及び職員の雇用継続を推進してまいります。

令和4年4月

理事長 川 戸 茂

1 事業の概要

(1) 経営理念

私たちは、きわめて公益性の高い社会福祉法人として、誰もが人として尊ばれ、愛する地域で自分らしく生活できる社会づくりに貢献します。

(2) 経営方針

ア 一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

イ 信頼される社会福祉法人として、茅ヶ崎市との連携を下に地域課題の解決に取り組みます。

ウ より質の高いサービスを提供できるよう、職員の資質を向上させ、組織体制を強化します。

エ 事業の継続的な改善・見直しを実施し、活力ある法人経営と効率的な事業経営により、経営基盤を強化します。

オ 関係法令や社会規範の理解・遵守を徹底するとともに、個人情報の保護と透明性の高い法人経営を推進し、利用者・地域社会の信頼に応えます。

2 管理・運営

(1) 理事会の開催状況

ア 令和3年度第1回（6月通常）理事会

（ア）日時 令和3年6月3日（水） 午後3時50分から午後5時45分まで

（イ）場所 ぐっじょぶ矢畑2階

（ウ）審議案

報告第1号 中期経営改善計画の取組・検討状況について

報告第2号 理事長専決処分の報告について

議案第1号 令和2年度事業報告について

議案第2号 令和2年度会計決算について

議案第3号 令和3年度第一次補正予算について

議案第4号 規程について

議案第5号 理事候補者について

議案第6号 監事候補者について

議案第7号 評議員選任候補者について

議案第8号 評議員選任・解任委員会の招集について

議案第9号 定時評議員会の招集について

以上報告2件、議案9件は審議の結果、異議なく承認された。

イ 令和3年度第2回（臨時）理事会

（ア）日時 令和3年6月24日（木） 午後5時15分から午後5時55分まで

（イ）場所 ぐっじょぶ矢畑2階

（ウ）審議案

議案第1号 理事長及び副理事長の選定について

議案第2号 評議員選任・解任委員会委員の選任について

報告第1号 評議員選任・解任委員会の報告について

報告第2号 理事長専決処分の報告について

以上議案 2 件、報告 2 件は審議の結果、異議なく承認された。

ウ 令和 3 年度第 3 回理事会（理事会の決議の省略）

（ア）決議があったものとみなされた日 令和 3 年 9 月 14 日（火）

（イ）審議案

議案第 1 号 令和 3 年度法人本部事業計画の変更について

議案第 2 号 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団規程について

議案第 3 号 令和 3 年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第二次補正予算について

議案第 4 号 決議の省略による評議員会の開催について

以上議案 4 件は理事全員から書面による同意の意思表示を得、監事全員の異議がなかったことから、理事会の決議があったものとみなされた。

エ 令和 3 年度第 4 回理事会（理事会の決議の省略）

（ア）決議があったものとみなされた日 令和 3 年 11 月 25 日（木）

（イ）審議案

議案第 1 号 令和 3 年度 10 月までにおける理事長及び副理事長の職務の執行状況の報告について

以上議案 1 件は理事全員から書面による同意の意思表示を得、監事全員の異議がなかったことから、理事会の決議があったものとみなされた。

オ 令和 3 年度第 5 回（3 月通常）理事会

（ア）日時 令和 4 年 3 月 16 日（水） 午後 4 時 05 分から午後 5 時 10 分まで

（イ）場所 ぐっじょぶ矢畑 2 階

（ウ）審議案

報告第 1 号 令和 3 年度第 3 回理事会（9 月決議の省略）について

報告第 2 号 令和 3 年度第 4 回理事会（11 月決議の省略）について

報告第 3 号 理事長専決処分の報告について

報告第 4 号 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告について

議案第 1 号 令和 3 年度第三次補正予算について

議案第 2 号 令和 4 年度事業計画について

議案第 3 号 令和 4 年度予算について

議案第 4 号 副理事長の退任について

議案第 5 号 事務局長の退任について

議案第 6 号 理事候補者について

議案第 7 号 評議員選任候補者の推薦について

議案第 8 号 評議員選任・解任委員会の招集について

議案第 9 号 令和 3 年度第 3 回（3 月）評議員会の招集について

以上報告 4 件、議案 9 件は審議の結果、異議なく承認された。

なお、議案第 2 号及び議案第 3 号は、定款第 35 条第 1 項の定めによる、理事総数の 3 分の 2 以上の同意が得られた。

カ 令和 3 年度第 6 回理事会（理事会の決議の省略）

（ア）決議があったものとみなされた日 令和 4 年 3 月 24 日（木）

（イ）審議案

議案第 1 号 副理事長の選定について

以上議案1件は理事全員から書面による同意の意思表示を得、監事全員の異議がなかったことから、理事会の決議があったものとみなされた。

(2) 評議員会の開催状況

ア 令和3年度第1回(定時)評議員会

(ア) 日時 令和3年6月24日(木) 午後3時55分から午後5時15分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑1階

(ウ) 審議案

報告第1号 中期経営改善計画の取組・検討状況について

報告第2号 令和2年度事業報告について

議案第1号 令和2年度会計決算について

議案第2号 令和3年度事業計画の変更について

議案第3号 令和3年度第一次補正予算について

議案第4号 理事の選任について

議案第5号 監事の選任について

以上報告2件、議案5件は審議の結果、異議なく承認された。

イ 令和3年度第2回評議員会(評議員会の決議の省略)

(ア) 決議があったものとみなされた日 令和3年10月1日(金)

(イ) 審議案

議案第1号 令和3年度法人本部事業計画の変更について

議案第2号 令和3年度社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団第二次補正予算について

以上議案2件は評議員全員から書面による同意の意思表示を得たことから、評議員会の決議があったものとみなされた。

ウ 令和3年度第3回(3月通常)評議員会

(ア) 日時 令和4年3月24日(木) 午後3時55分から午後4時50分まで

(イ) 場所 ぐっじょぶ矢畑1階

(ウ) 審議案

報告第1号 令和3年度第2回評議員会(9月決議の省略)について

報告第2号 資金運用状況について

報告第3号 利用者と職員の関りのその後の経過ほかについて

議案第1号 令和3年度第三次補正予算について

議案第2号 令和4年度事業計画について

議案第3号 令和4年度予算について

議案第4号 理事の選任について

以上報告3件、議案4件は審議の結果、異議なく承認された。

(3) 事業種別

ア 指定管理者事業

名 称	事 業 種 別 (定員)	指定管理期間
つつじ学園	児童発達支援センター (30)	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日
	児童発達支援 (10)	
	保育所等訪問支援	
ふれあい活動ホーム赤羽根	就労移行支援 (6)	

	就労継続支援B型 (23)	
ふれあい活動ホームあかしあ	生活介護 (20)	
ふれあい活動ホーム第2あかしあ	就労継続支援B型 (25)	
かめっこくらぶ(東海岸・松が丘)	障害児日中一時支援 (10・10)	

イ 自主事業

名 称	事 業 種 別 (定員)	指定日
あっとほーむ小和田 (松が丘) (高田)	(5・サテライト1+1) 共同生活援助 (5・サテライト1+1) (6)	平成24年7月1日指定 *松が丘 平成26年1月5日開所 *高田 令和2年2月1日開所
相談支援センターつみき	障害児相談支援 特定相談支援	平成24年10月1日指定
ぐっじょぶ矢畑	就労継続支援B型 (20)	平成29年4月1日指定

ウ 委託事業

名 称	事 業 種 別	指定日
相談支援センターつみき	茅ヶ崎市相談事業	平成24年10月1日指定

(4) 茅ヶ崎市との協定書等について

締結日	名称
令和3年4月1日	茅ヶ崎市障害児通所施設の管理運営に関する年度協定書
令和3年4月1日	茅ヶ崎市障害者ふれあい活動ホームの管理運営に関する年度協定書
令和3年4月1日	委託業務契約書(相談支援センターつみき)

(5) 職員配置

令和4年3月配置数

		員数計	職種	正規職員 員数	非正規職員 員数	常勤換算
法人本部事務局		2		1	1	
	本部事務局		副理事長(業務執行理事)		1	0.77
			事務局長		(1)	
			事務局長補佐	1		
			事務員	(1)		
児童						
つつじ学園		46		12	34	
	児童発達支援センター		管理者	1		
			児童発達支援管理責任者	1		
			保育士・児童指導員	5	12	10.33
			運転員		3	1.39
			指導員(添乗業務含む)		1	0.45
	保育所等訪問支援		管理者	(1)		
			児童発達支援管理責任者	(1)		
			訪問支援員	(1)		
	児童発達支援		管理者	(1)		
			児童発達支援管理責任者	1		
			保育士・児童指導員又は 障害福祉サービス経験者	3	2	2.00
	共通		管理栄養士	1		
			調理員		3	1.29
			事務員	(1)	1	0.46
			看護師		3	1.06
			嘱託医(小児科)		1	0.01
			嘱託医(精神科)		1	0.01
			理学療法士		1	0.50
			言語聴覚士		2	0.85
			公認心理師		2	1.35
			臨床心理士		1	
			作業療法士		1	0.74
かめっこくらぶ		9		1	8	
	日中一時支援		管理者	1		
			保育士・児童指導員・指導員		8(1)	3.44
			運転員		2(1)	0.57
就労・生活						
ふれあい活動ホーム赤羽根		9		3	6	
	就労移行支援 就労継続支援B型		管理者	1		
			施設長	(1)		
			サービス管理責任者	(1)		
			就労支援員	1		
			生活支援員	1		
			職業指導員		6	4.50
ふれあい活動ホームあかしあ		11		2	9	
	生活介護		管理者	(1)		
			施設長	1		
			サービス管理責任者	(1)		
			生活支援員	1	8	3.63
			嘱託医		1	0.01
			看護師		(1)	
ふれあい活動ホーム第2あかしあ		7		1	6	
	就労継続支援B型		管理者	1		
			施設長	(1)		
			サービス管理責任者	(1)		
			職業指導員		6	4.55
ぐっじょぶ矢畑		4		2	2	
	就労継続支援B型		管理者	(1)		
			施設長	(1)		
			サービス管理責任者	1		
			職業指導員	1	2	1.62
あっとほーむ小和田		15		1	14	
	松が丘・高田・サライト1・2 共同生活援助		管理者	(1)		
			施設長	(1)		
			サービス管理責任者	(1)		
			生活支援員	1	1	0.39
			世話人		15(2)	4.00
相談						
相談支援センターつみぎ		3		1	2	
	障害児・特定相談支援 一般相談支援		管理者	1		
			相談支援員	(1)	2	1.32
計		106		24	82	

() は他職種または他事業所との兼務
 なお、休職者等の代替職員を除く

(6) 研修、会議等

外部研修	主催	日数	延人数	備考
健康保険委員研修会「令和4年1月の制度改正について・健康な職場づくり」	全国健康保険協会金川支部	1	1	オンデマンド配信
社会福祉法人経理事務マニュアルの解説	日本公認会計士協会神奈川県会	1	2	オンライン
若年層の雇用と中堅社員の離職防止策	茅ヶ崎市	1	1	
社会福祉法人会計予算・実践編	(公財) 公益法人協会	1	1	
社会福祉法人会計セミナー決算編	(公財) 公益法人協会	1	1	
社会福祉法人の経営力強化 計算書類の存在価値・人材確保と定着	福祉経営研究機構	1	2	オンライン
社会福祉法人の経営力強化 中期経営計画と予算・パワハラ防止法	福祉経営研究機構	1	2	オンライン
2022年の道路交通法改正と企業の対応ポイント	ソフトバンク	1	1	オンライン
メンタルヘルス講習	(福) 福利厚生センター	-	1	e-ラーニング
計		8	12	

外部会議等	主催	日数	延人数	備考
県内事業団総務担当課長会議	神奈川県総合リハビリテーション事業団	1	1	オンライン
茅ヶ崎市行政改革推進委員会	茅ヶ崎市	1	2	
茅ヶ崎市との打ち合わせ	-	4	13	
指定管理施設モニタリング	茅ヶ崎市	4	-	
計		10	16	

内部会議	回数	内容	備考
経営会議/ 施設長会議 (兼計画推進委員会)	2	事業団における管理運営に関する重要事項の審議、中期経営改善計画に掲げた事項の検討と調整。 主な議題：会議等運営方法の見直し、職員給与制度の見直し、外郭団体見直し基本方針について、指定管理施設の今後の方向性、異動・人事評価についてなど	1回は施設長会議を同時開催とした。
施設長会議 (成人分科会)	1	事業運営における調整、人材育成、新たな取り組みや行事等の協議と共有化。	
施設長会議 (児童分科会)	1	主な議題：収支状況の確認、中期経営改善計画と重点目標の進捗確認、職員研修についてなど	
広報委員会	-	委員会の運営方法が見直され、広報紙の発行を終了とし、ホームページ等の充実を図ることとなった。	
防災委員会	1	つつじ学園防災グループが中心となり、福祉避難所の備蓄品検討並びに福祉避難所設置訓練を実施した。	
人材委員会		経営会議または施設長会議の所掌事項へ変更。	
権利擁護推進委員会	2	年2回の自己点検シートの実施	オンライン
計	7		

(7) 職員への助成制度

ア 資格取得支援の助成

資格名	人数	備考
社会福祉主事	1	非正規職員
介護福祉士	1	正規職員

イ インフルエンザ予防接種料の助成

人数	助成金額
20	39,600

(8) 人事業務

実施日	業務内容
4月1日	辞令交付 人事配置（兼職解除1名） 任期付き職員発令（継続2名、新規2名） 常勤嘱託職員発令（継続2名、新規3名）
4月7日～ 2月8日	育児休業承認（1名）
5月24日～ 10月31日	休職（1名）
5月31日	職員退職承認発令（1名）
7月1日	辞令交付 昇進（5名）/昇格（3名）
11月1日～ 11月15日	休職延長（1名）
11月16日	復職発令（1名）
12月13日～ 12月17日	病気休暇（私傷病）
1月4日	勧告書
1月24日	退職勧奨
1月19日	正規職員採用決定（3名）
2月9日～ 3月31日	育児休業承認（1名）
2月17日	病気休暇（母性健康管理指導） 3月12日まで
3月22日	契約職員採用決定（1名）
3月24日	人事異動（内示）
3月31日	職員退職承認発令（1名）
3月31日	特別休暇（産前産後休暇）承認（契約1名） /6月29日までの予定

3 令和3年度の重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	人事考課を含めたキャリアパス制度と新たな給与制度の運用を開始する。	概ね達成できた。 職員給与規程を一部改正し、新たな給与制度の運用を開始したが、労働組合との協議の進め方に課題が残った。 また、人事評価制度は案を基に検討したが、より福祉現場に即した実効性のある内容とするため、引き続き検討することとした。
(2)	職員アンケートを上期までに実施するとともに、職員の育成、定着のための具体的な取り組みを実施する。	達成できなかった。 11月に実施し、3月に集計と考察を終えることができたが、結果を参考にした具体的な取り組みには至らなかった。
(3)	あっとほーむ松が丘について施設の安全・安心を確保するため、社会福祉施設等施設整備費補助を活用し、スプリンクラーを設置する。	達成できなかった。 神奈川県予算措置の状況により、前期の取り組みが一時保留となった。 その後入居者のサテライト住居への転居など、利用者が希望する生活スタイルが変わってきたこともあり、あっとほーむ全体として将来を見据えたスプリンクラーの設置を再度検討するため、令和3年度の設置希望を辞退した。

つつじ学園事業報告

(児童発達支援センター・児童発達支援・保育所等訪問支援)

1 基本方針

児童福祉法の理念に基づき、子どもたち一人ひとりを尊重し、愛する地域で自分らしく生活できるように、子どものニーズに寄り添った支援を行い、早期療育の定着を図ることにより、基本的な生活能力を高め、情緒豊かな人間性を養う。

(1) 児童発達支援センター(単独通園、週5日)*通園バスあり

保護者から離れて療育を積み重ねていく中で、今までにない人間関係が芽生え、様々な活動を経験することで、社会参加に向かう力を養う。また、保護者は子どもと離れ、客観的に子どもを見つめる時間を過ごし、自身の生活を考え、もう一度子どもとの関わりを捉え直す機会を持つ。

肢体不自由児、医療的ケア児を受け入れる体制を整え、子どもの特性に合った環境で支援を行う。

(2) 児童発達支援事業(親子通園、週2~3日)

心身の発達に遅れやつまづきがある子どもたちが、保護者と共に友達や職員といろいろな遊びや活動に取り組み、経験を積み重ねていく。また、身の回りのことを自分でできるように支援する。保護者は、子どもと一緒に療育に参加し、支援の在り方について職員と考える。また、保護者同士で交流を深めながら、共に考え、助け合う場となるよう保護者を支援する。

(3) 保育所等訪問支援事業

保育園等に在籍している学園児、退園児を対象に、公認心理師、訪問支援員が保育所等を訪問し集団生活の適応支援を行う。また、子どもへの直接支援や発達の様子を踏まえた関わり方や提示方法について、訪問先保育所等のスタッフに対する支援方法等のアドバイスとともに、ご家族に訪問先での様子の報告等を行う。

2 令和3年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	支援計画に際し、評価のばらつきや隔たりを防ぐために、発達の過程が分かる統一の様式(アセスメントシート)を2月までに作成し、次期の支援計画に反映させる。	概ね達成できた。 毎月1回程度、正規職員で検討を重ねているが、知的障害児用の支援計画書は完成にはもう少し時間がかかる。4年度には知的障害児用の書式と肢体不自由児用の書式を完成させる。
(2)	児童部門の在り方について、相談支援センターも含めた組織、人員体制等のメリットやデメリットを検証し、かつ、地域のニーズや収支バランスを考慮した体制を市に提案し継続的に協議を行う。	概ね達成できた。 児童発達支援事業については、実態に即して3年度より定員を20名から10名に変更したが、給付収入は増収となった。また、かめっこくらの運営を松が丘で一本化する方向で市と協議した。

(3)	働きやすい職場環境を作るにあたり、正規職員と非正規職員との役割分担を明確にし、時間外勤務の削減や休憩時間の確保等、効果的・効率的な運営を実践する。	概ね達成できた。 今年度に非正規職員1名を嘱託職員に任命したが、過度な負担にならないよう配慮し徐々に職務を増やしていった。時間外勤務については、遵守事項を徹底したことでメリハリのある勤務ができるようになった。児童発達支援センターでは降園時間を14時に統一したため（これまでは13時30分と14時30分の2種類）クラスの打ち合わせ時間や休憩時間の確保がしやすくなった。
(4)	職員の職務知識の獲得や資質の向上のほか、社会人としてのマナーやルール、パワーハラスメントや児童虐待防止等のコンプライアンス順守を徹底するため、月1回以上の研修を実施する。	達成できた。 年間を通して延べ16日の内部研修を実施した。 実務3年目までの職員を対象とした研修、各専門職による研修、職員同士による発達段階に合わせた研修や模擬療育の研修、精神科嘱託医による研修を実施し、年度初めの職員会議にて職員のマナーやルール、パワハラについての研修を行った。

3 利用者の状況

(1) 利用状況（代替支援を含む。）

																		前年度		
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数
センター	実在籍(契約)数		36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	229		229	228	4	232
	開所日数		19	18	22	20	17	20	21	20	18	19	18	17	229		229	228	4	232
	延在籍数		667	648	792	711	600	756	756	720	648	679	628	601	8,206		6,532	7,296		
	延利用数		551	539	637	482	456	599	598	563	502	536	554	515	6,532		6,532	5,994	29	6023
	分析	一日平均		29.0	29.9	29.0	24.1	26.8	30.0	28.5	28.2	27.9	28.2	30.8	30.3	28.5		26.3		
		出席率		82.6%	83.2%	80.4%	67.8%	76.0%	79.2%	79.1%	78.2%	77.5%	78.9%	88.2%	85.7%	79.6%		82.2%		
訪問	実在籍(契約)数		8	5	6	7	7	8	8	8	9	10	10	10	9		9	15		15
	延利用数		0	0	0	3	0	1	0	0	4	1	0	0	9		9	15		15
事業	実在籍(契約)数		23	23	25	26	26	27	27	27	27	27	27	27	229		229	226	1	227
	開所日数		18	18	23	21	17	20	21	20	18	19	18	16	229		229	226	1	227
	延在籍数		171	167	240	224	185	241	230	220	201	205	209	190	2,483		1,916	3,376		
	延利用数		136	146	198	171	138	185	178	160	162	135	157	150	1,916		1,916	2,390	1	2391
	分析	一日平均		7.6	8.1	8.6	8.1	8.1	9.3	8.5	8.0	9.0	7.1	8.7	9.4	8.4		10.6		
		出席率		79.5%	87.4%	82.5%	76.3%	74.6%	76.8%	77.4%	72.7%	80.6%	65.9%	75.1%	78.9%	77.2%		70.8%		

上記の数値は代替支援数を含むため、便宜上出席停止数のみを除算し、休園やクラス閉鎖の対象となる日数や人数は算入している。

なお、コロナ不安による登園自粛数（上記外）は、センター167件、事業89件であった。

ア 児童発達支援センター

週5日の単独通園を通じて、保護者から離れて身辺面や社会性、コミュニケーションの発達を促すことを目的に継続的な取り組みを行った。行動のコントロールが難しい子や未歩行または姿勢運動に介助が必要な子どもについては、個別に職員が対応し、子どもの様子や発達段階に合わせた支援を行った。医療的ケアが必要な子どもには看護師が必要に応じて付き添い、クラス職員と連携し

安心安全に過ごせるよう支援を行った。子どもの様子や関わり方については、日々の連絡や面談を通して保護者と共有した。

また、専門指導を必要とする子どもを対象に、ニーズに合わせて専門職種の活用を積極的に実施した。

なお、コロナ禍により、遠足、夏祭り、学園祭、プール（水）遊び、泥遊び、クッキング、等を中止せざるを得ない状況であった。

イ 児童発達支援事業

母子通園の子どもを中心に発達段階や特性に合わせたクラスを編成し、年少前を含めた早期から週2日～3日の療育を積み重ねるように実施することで、保護者支援、子どもの生活リズムの確立、日常生活動作の向上、情緒面の安定を図った。

また、各クラスのカリキュラムに、理学療法士、作業療法士、公認心理師、臨床心理士、言語聴覚士が参加し、子どもへの直接支援や療育スタッフへの後方支援等を取り入れた。

コロナ禍における対応については上記と同じ。

ウ 保育所等訪問支援

つつじ学園在園児を対象に、保育所等における集団適応支援、後方支援、情報の共有を目的に実施した。訪問後は、方針会議を開き、大きな集団での「過ごし」について、保育所等、保護者、保育所等訪問支援員、公認心理師、担当職員間で課題を共有し連携を図ることで子どもの特性理解につながり、特性に合った支援や関わりが子どもに提供されたことで、集団生活への適応につながった。

(2) 年齢・性別

	児童発達支援センター			児童発達支援事業			合計
	男	女	計	男	女	計	
2歳児	0	0	0	1	0	1	1
3歳児	0	0	0	11	6	17	17
4歳児	10	1	11	5	4	9	20
5歳児	15	10	25	0	0	0	25
計	25	11	36	17	10	27	63

(3) 障害種別

	身体障害							知的障害				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
センター	1	1	0	0	0	0	2	0	3	5	9	17
事業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	5
計	1	1	0	0	0	0	2	0	4	9	9	22

	重複							小計	未交付	合計
	身1級 A1	身1級 A2	身1級 B2	身2級 A1	身2級 A2	身3級 A2	身5級 B2			
センター	1	1	0	1	1	1	1	6	11	36
事業	2	0	1	0	0	0	0	3	19	27
計	3	1	1	1	1	1	1	9	30	63

*未交付の中には療育手帳を取得したくても、発達数値が該当しないケースあり。

(4) 診断名

	ダウン症等 症候群	自閉症 スペクトラム	その他	診断名なし	計
センター	2	9	11	14	36
事業	3	1	6	17	27
計	5	10	17	31	63

(5) 入園経路

	こども センター	総合療 育相談 センター	幼稚園 保育園	他施設	学園内 発達支 援事業	転居	行政 (保健所 等)	児相	家庭	相談事 業所	計
センター	1	0	0	0	16	0	0	0	0	2	19
事業	10	2	0	0	0	0	1	0	0	0	13
計	11	2	0	0	16	0	1	0	0	2	32

(6) 退園経路

	学校				幼稚園 保育園	他施設	学園内 発達支 援センター	転居	家庭	計
	支援 学校	支援 学級	通常 学級	小計						
センター	6	17	1	24	1	0	0	1	0	26
事業	0	0	0	0	2	0	19	0	0	21
計	6	17	1	24	3	0	19	1	0	47

4 支援内容

(1) 日課表

時刻	児童発達支援センター	時刻	児童発達支援事業
8:30	全職員打ち合わせ	8:30	全職員打ち合わせ
	日課打ち合わせ		日課打ち合わせ
8:40	通園バス出発	8:50	活動準備・記録
9:00	活動準備・記録	9:30	個別指導
9:30	個別指導	10:00	登園
10:00	通園バス到着、登園		支度・自由遊び
	支度・自由遊び・排泄	10:20	リズム
10:35	集まり・水分補給	10:30	集まり
10:45	部屋別活動、全体活動		リラックス体操
11:45	給食	11:10	機能回復訓練等
	着脱・自由遊び	11:20	課題遊び
13:00	課題活動	11:45	給食
	リラックスタイム	12:30	排泄・自由遊び
13:45	集まり・降園準備	12:50	集まり・降園準備
14:00	通園バス出発、降園	13:00	降園（親子グループ）
	清掃		個別指導
15:30	通園バス到着		面談
	記録等		清掃
16:20	担当打ち合わせ	15:00	担当打ち合わせ
17:15	職員退勤		記録等
		17:15	職員退勤

(2) 専門職による指導訓練

区分	日数	延人数
理学療法士(PT)	113	224
作業療法士(OT)	96	131
言語聴覚士(ST)	66	95
言語聴覚士(ST)	45.5	63
公認心理師	95.5	128
公認心理師	37	46
臨床心理士	48	50
計	501	737

個別指導だけではなく、集団活動の様子を観察していただく時間を設定することで、集団での課題等を共有していくことができた。

子どもの指導だけではなく、保護者支援が必要なケースは専門職員と面談する時間を多く取り入れ、フォローを行った。

指導職員の知識等向上のため、専門職員による研修、勉強会を実施した。

(3) 嘱託医師による検診

区分	日数	集団検診延人数			個別検診延人数		
		センター	事業	計	センター	事業	計
精神科	25			0	33	21	54
小児科	22	68	25	93	2	3	5
歯科	中止						

精神科の個別健診において、事業は新入園児を対象とし、小児科の個別検診はセンターと事業ともに新入園児を対象に実施した。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
安全運転管理者法定講習	一般社団法人神奈川県安全運転管理者会連合会	1	1	
心身障害児保育研究会	県内心身障害児保育研究会	1	1	オンライン
地域における医療的ケア児への包括的支援	茅ヶ崎市保健所	1	1	
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者補足研修	NPO法人シーガル研修・研究機構	2	2	オンライン
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者専門コース別研修	NPO法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク	2	2	オンライン
計		7	7	

内部研修	主催	日数	延人数
自己点検シート振り返り（9月・3月）	つつじ学園職員	2	63
本の読み合わせ（3年目までの職員対象）	心理指導職員	3	40
心理研修（自閉症スペクトラム等について）	心理指導職員	1	14
PT研修（体の使い方、動かし方について）	PT指導職員	1	20
OT研修（体に関する支援の在り方等について）	OT指導職員	1	24
ST研修（言葉とコミュニケーションについて）	ST指導職員	1	21
発達段階に合わせた活動の選び方、展開を学ぶ	つつじ学園職員	2	47
模擬療育	つつじ学園職員	2	41
学園児についての特性理解と関りについて	嘱託医（児童精神科）	1	24
安全運転について	つつじ学園	2	2
計		16	296

（2）会議

外部会議	主催	日数	延人数	備考
特別支援教育担当者会兼教育センター青少年教育相談事業等説明会	学校教育指導課	1	1	
茅ヶ崎市障害者施設連絡会総会	茅ヶ崎市施設連絡会	1	1	
令和3年度県内公立障害者通園施設連絡協議会	県内公立障害児通園施設連絡協議会	4	4	書面会議（2回）
茅ヶ崎市自立支援協議会代表者会議	茅ヶ崎市自立支援協議会	3	3	書面会議（2回）
茅ヶ崎市自立支援協議会つながり支援部会	茅ヶ崎市自立支援協議会	5	5	
ケース会議	つつじ学園	3	8	
計		17	22	

内部会議	主催	日数	延人数
アセスメントシート、支援計画書の見直し	つつじ学園職員	15	100

6 その他

（1）給食

区分	提供数		栄養相談	
	年間	1日あたり	日数	延人数
センター	5,685	25.8	0	0
事業	1,537	6.9	5	5

	目標	提供	推定摂取
熱量（kcal）	420	464	409
蛋白質（g）	17	20.9	17.7

季節ごとに行事食を取り入れた。（こどもの日、七夕、クリスマス、七草、ひな祭り等）七草はできるだけ多くの児が食べられるよう七草は混ぜ込まず別にし、クラス担当が児の様子にあわせ提供した。ひな祭りのちらしずしは華やかに仕上げたため、白米でしか食べられない児には別に白米を提供した。

食に興味を持つことを目的に、そら豆のさやむき体験を行い、その日の給食で提供した。

(2) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	園児	職員	その他	計	場所	想定
4月23日	30	22	9	61	1階調理室	火災避難訓練
5月24日	37	25	8	70	1階調理室	火災避難訓練
6月10日	33	28	8	69	1階調理室	地震火災避難訓練
7月13日	29	22	9	60	1階調理室	火災・水害避難訓練
8月3日	30	27	2	59		地震津波避難訓練
8月6日	32	24	5	61	1階調理室	地震火災避難訓練
9月16日	33	22	10	65	2階配膳室	地震火災避難訓練
9月28日	3	2	3	8		事業引き渡し訓練
9月29日	31	18	31	80		センター引き渡し訓練
10月20日	30	22	14	66	2階いちご部屋	火災避難訓練
11月15日	36	23	6	65	1階調理室	地震火災避難訓練
12月7日	35	22	5	62	1階調理室	火災避難訓練
12月27日	0	29	1	30		福祉避難所設営訓練
1月12日	39	27	10	76	1階調理室	ガス爆発火災避難訓練
2月24日				0		コロナによる休園のため中止
3月3日	20	23	6	49	1階調理室	火災避難訓練

(3) 年間行事

実施日	行事内容
4月1～2日	自宅療育日
4月5日	入園式
5月17・18・20・28日	事業部屋別懇談会（ひよこAB、ぺんぎんABE）
6月7～11日	事業家族参観（ひよこA、ぺんぎんAE）
6月12日	家族参観日（ひよこA、ぺんぎんAE）
6月25・29日	センター部屋別懇談会（いちご、りんご）
7月1・5日	センター部屋別懇談会（みかん、めろん）
7月6～10日	事業家族参観（ひよこB、ぺんぎんB）
7月10日	土 センター家族参観日
8月10～13日	自宅療育日
10月15～22日	事業家族参観（ひよこA、ぺんぎんAE）
11月11・12日	センター部屋別懇談会（みかん、めろん）
11月16～18日	センター部屋別懇談会（りんご、ばなな、いちご）
11月29日 ～12月3日	事業家族参観（ひよこB、ぺんぎんB）

12月3日	土	センター家族参観日
12月23・24日		クリスマス会（センター・事業）
12月27日 ～1月3日		自宅療育日及び年末年始休業
3月24日		卒園式
3月25～31日		自宅療育日

今年度もコロナの影響で大きな行事が実施できなかったが、季節に合わせた制作や活動などで季節の雰囲気を楽しむ等の工夫をした。

運動会についても実施はしなかったが、クラスによっては活動に運動遊びを多く取り入れる等の工夫をした。

（４）保護者懇談会

実施日	参加人数			
	利用者	保護者	職員	計
6月25日	0	15	2	17

（５）保護者研修

研修会等の内容	講師	延日数	延人数		
			センター	事業	計
就学に向けて	心理指導職員	1	15	-	15

（６）事業所評価

児童発達支援ガイドラインに基づき、事業所自己評価及び保護者等からの事業所評価を実施し、それぞれの評価は法人ホームページに公表している。なお、センター87.5%（回収率 75.0%：配布 32 件/回収 24 件）、事業 90.0%（回収率 75.0%：配布 32 件/回収 24 件）の満足度を得られました。

（７）車両の運行状況

（通園バス：シビリアン）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	638	642	777	683	622	683	744	752	652	716	557	605	8,071	672.6
運行日数 (日)	18	18	22	20	17	20	21	20	18	16	15	16	221	18.4
平均走行 距離(km/日)	35.4	35.7	35.3	34.2	36.6	34.2	35.4	37.6	36.2	44.8	37.1	37.8		36.5

（送迎車：セレナ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	771	667	806	637	528	513	535	517	435	479	355	397	6,640	553.3
運行日数 (日)	17	17	22	20	17	20	21	20	18	19	14	17	222	18.5
平均走行 距離(km/日)	45.4	39.2	36.6	31.9	31.1	25.7	25.5	25.9	24.2	25.2	25.4	23.4		29.9

(タント)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	117	89	78	117	75	156	112	119	156	141	97	210	1,467	122.3
運行日数 (日)	14	11	12	16	10	13	10	12	13	13	10	16	150	12.5
平均走行 距離(km/日)	8.4	8.1	6.5	7.3	7.5	12.0	11.2	9.9	12.0	10.8	9.7	13.1		9.8

(7) 教育実習生の受け入れ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	0	0	1	1	1	3	0	1	0	0	2	3	12
述べ日数	0	0	11	11	11	36	0	11	0	0	22	33	135

かめっこくらぶ事業報告（日中一時支援）

1 基本方針

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び茅ヶ崎市障害児通所施設条例の定めるところにより、障害児が学校下校後や学校休業期間中に活動する場を提供し、障害児を日常的に介護している家族の一時的な休息及び障害児を持つ保護者の就労支援を行う。

学校や年齢が異なる仲間との交流を通して、子どもたちの社会性や協調性を養う。一人ひとりの子どもの特性やニーズに対応した療育的配慮を行う。

2 令和3年度重点目標の達成状況と評価

(1)	事業規模にあった職員体制に見直す。	達成できなかった。 職員配置を見直し、その日の利用状況に応じた非常勤職員の出勤時間や送迎車の配車を調整するなどし、実態に即した職員体制にて運営した。 新型コロナウイルスの感染リスク対策として、東海岸1ヶ所にて活動を行ったが、一日の平均利用人数は8.6人に留まり、昨年度とほぼ変わらなかったため、今後は新規契約者の確保に努めていきたい。
(2)	収支差額を減らすなど、事業規模に見合った運営を目指す。	ほぼ達成できた。 延べ利用者数は昨年度に比べ53人増加した。重度加算や行動加算といった個別的支援が必要な対象者も昨年度に比べ291人の利用増加に伴い、サービス事業収入を約209万円を増加させることができた。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	前年度
か め っ こ く ら ぶ	共通	実在籍(契約)数	51	51	51	50	48	47	45	43	42	42	42	42				58
		実利用者数	35	33	32	34	31	32	30	32	31	30	27	29	376			369
		開所日数	21	18	22	20	17	20	21	20	20	19	18	22	238	0	238	236
	東	延利用数	97	90	104	86	77	89	85	84	88	65	52	81	998	0	998	1,034
		分析 一日平均	4.6	5.0	4.7	4.3	4.5	4.5	4.0	4.2	4.4	3.4	2.9	3.7	4.2			4.4
	松	延利用数	105	80	107	98	70	88	86	89	89	79	76	89	1,056	0	1,056	967
		分析 一日平均	5.0	4.4	4.9	4.9	4.1	4.4	4.1	4.5	4.5	4.2	4.2	4.0	4.4			4.1
	計	延利用数	202	170	211	184	147	177	171	173	177	144	128	170	2,054	0	2,054	2,001
		分析 一日平均	9.6	9.4	9.6	9.2	8.6	8.9	8.1	8.7	8.9	7.6	7.1	7.7	8.6			8.5

利用者のうち、重度加算者は3名、行動加算者は14名となっている。その他機能的に個別的支援が特に必要な利用者は2名となっており、個別的な支援が必要な利用者は、定期的な利用者全体の約4割となっている。

特に連携が必要なケースについては、学校や関係機関とケース会議を行い、情報や支援の共有と連携の強化を図った。

なお、日中一時支援を利用しなくなったことを理由に7件、中学進学や放課後等デイサービスの利用移行を理由に6件の利用解除があった。

新型コロナウイルス感染症の感染防止に努め、昨年度と同様に東海岸にて合同で過ごした。事業所を介しての新型コロナウイルスの発生はなかった。

(2) 障害別利用実人員

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
東知的	19	17	16	18	16	17	15	17	16	15	13	14	193
海肢体	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
岸小計	21	19	18	20	18	19	17	19	18	17	15	16	217
松知的	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	12	13	159
が肢体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
丘小計	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	12	13	159
合計	35	33	32	34	31	32	30	32	31	30	27	29	376

(3) 年齢・性別

	男	女	計
3歳児(年少)	0	0	0
4歳児(年中)	0	0	0
5歳児(年長)	1	1	2
小学1年生	6	2	8
小学2年生	7	1	8
小学3年生	10	1	11
小学4年生	3	5	8
小学5年生	8	1	9
小学6年生	4	1	5
計	39	12	51

(4) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	0	0	0	0	0	0	1	6	15	13	35

重複			未交付	合計
身1級 A1	身2級 A1	小計		
1	2	3	13	51

4 支援内容

- (1) 安心・安全に利用していただくため、体温、排泄、食事の記録など連絡帳を通じて家庭と一緒に健康管理を行った。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、検温の徹底と消毒、手洗い、車両を含めた設備の消毒等を徹底した。
- (2) 長期休暇時には公園遊びや散歩などを積極的に取り入れ、体力作りを実施した。
- (3) 季節の行事に合わせて、描画や製作を行い、楽しさや面白さを通して考える力や達成感を育んだ。
- (4) 活動にあたっては、写真カードやスケジュールを分かりやすく提示し、誰もが見通しをもって能動

的に参加しやすくなるよう支援した。

(5) 送迎車により、学校から事業所までの迎え、自宅までの送りを行った。

延日数	延人数
中止	

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
発達障がい課題がある子の育て方	ぜんち共済	1	2	オンライン
自閉症の人の行動上の問題を考える。	自閉症LABO	1	1	オンライン
計		2	3	

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
日中一時についての意見交換	あかいとり	1	1
定例会	茅ヶ崎・寒川障害児者通所事業所連絡会	2	2
ケース会議	つみき	3	3
ケース会議	市内小学校	3	3
計		9	9

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用児	職員	その他	計	場所	想定
12月23日	7	5	0	12	つつじ学園	福祉避難所への経路確認
12月24日	8	5	0	13	つつじ学園	福祉避難所への経路確認
12月27日	7	5	0	12	つつじ学園	福祉避難所への経路確認
12月28日	6	5	0	11	つつじ学園	福祉避難所への経路確認
2月25日	8	6	0	14	茅ヶ崎小学校	広域避難所への経路確認

(2) 年間行事

実施日	行事内容
12月2日～12月7日	クリスマス製作
1月4日～1月19日	書初め
1月25日～2月2日	節分製作
2月22日～3月1日	ひな祭り製作

製作は、窓側に机を配置し、一人ひとり個別に行うなど、密にならない対応をとりながら季節に応じた製作に取り組んだ。また、お子さんの頑張っている様子をご家庭と共有するため、取り組んでいる様子を写真に撮り、各家庭にメール配信した。

(3) 保護者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、9月に保護者アンケートを実施し（アンケート回収率 55%：配布 31 件/回収 17 件）し、支援内容について平均 90%、職員の対応について平均 96%の満足度を得られました。

(4) 車両の運行状況

(ハイエース)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	141	183	668	673	510	625	742	623	644	560	608	744	6,721	560.1
運行日数 (日)	5	11	20	21	16	20	22	19	20	18	18	23	213	17.8
平均走行 距離(km/日)	28.2	16.6	33.4	32.0	31.9	31.3	33.7	32.8	32.2	31.1	33.8	32.3		31.6

(ステップワゴン)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	475	567	273	356	270	342	400	395	402	349	307	456	4,592	382.7
運行日数 (日)	18	18	18	19	12	19	19	19	18	18	18	22	218	18.2
平均走行 距離(km/日)	26.4	31.5	15.2	18.7	22.5	18.0	21.1	20.8	22.3	19.4	17.1	20.7		21.1

(ターセル)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	47	11	49	192	79	100	81	64	62	64	75	96	920	76.7
運行日数 (日)	6	2	8	18	10	12	12	8	9	9	8	15	117	9.8
平均走行 距離(km/日)	7.8	5.5	6.1	10.7	7.9	8.3	6.8	8.0	6.9	7.1	9.4	6.4		7.9

(アルト)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	15	13	110	159	97	135	131	81	122	119	135	110	1,227	102.3
運行日数 (日)	2	2	10	18	10	16	17	12	15	13	15	15	145	12.1
平均走行 距離(km/日)	7.5	6.5	11.0	8.8	9.7	8.4	7.7	6.8	8.1	9.2	9.0	7.3		8.5

(N-BOX)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	196	149	210	217	215	224	211	213	284	182	139	266	2,506	208.8
運行日数 (日)	16	14	17	19	16	18	20	18	19	17	11	18	203	16.9
平均走行 距離(km/日)	12.3	10.6	12.4	11.4	13.4	12.4	10.6	11.8	14.9	10.7	12.6	14.8		12.3

1 基本方針

（就労移行・就労継続 B 型）

障害のある方が、働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

利用者一人ひとりの希望や実態に則した目標を設定し、施設内・外での作業を通じて自立した社会生活と一般就労へ向けての支援を行います。

（就労継続 B 型）

利用者が地域で経済的にも自立して生活するために、工賃水準の引き上げを目指します。

2 令和 3 年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	就労移行 これまでに構築した関係機関との連携体制を活用しながら、個々の利用者の課題解決のために、長期的目標と短期的目標を設定し、作業を通じて日々きめ細やかな支援を行うことで、就労に必要なスキルを獲得してもらうなど、個々の特性と希望に応じた就労支援を一層充実させ、就労移行支援での一般就労者を 3 名以上とする。	達成できなかった。 ハローワーク主催のチーム支援会議や関係機関との連携により求人情報はあったが、利用者にマッチングする求人が少なく応募するには至らなかった。結果、就労者は 0 名であった。 日々の作業を通じて作業能力は向上しているため、引き続き就労に向けご本人の意向を高めていく。
(2)	就労移行 コロナ禍で勤務日数が減少している。赤羽根 OB である一般就労者に対し、赤羽根を勤務日以外の活動の場として提供する。	概ね達成できた。 赤羽根 OB 就労者 21 名に対し雇用状況の調査を実施した結果、勤務日数や勤務時間を削減されている対象者は 5 名いることが確認できた。そのうち 1 名はご本人の希望により会社を退職し赤羽根に復帰することとなったが、事業成果に貢献いただいている。
(3)	就労継続 B 型 月額平均工賃を 20,000 円以上とする。	達成できた。 月額平均工賃は 20,008 円となり、前年度の 19,428 円を上回った。

(4)	就労継続B型 諸課題がある中で生産性を上げるため、利用者支援マニュアルを作成し、一人ひとりの障害特性に配慮した作業環境や作業量を提供していく。	達成できた。 利用者一人ひとりの得意・不得意な作業、好きな事、嫌いな事、特徴的な行動を確認し、施設として配慮すべき点をまとめた個別支援マニュアルを34名分作成した。これにより、利用者にとって働きやすい環境や、やりがいを感じる作業を提供することができた。
-----	---	---

3 利用者の状況

(1) 利用状況(代替支援・施設実習を含む。)

																		前年度			
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数	
赤羽根	移行	実在籍(契約)数	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2							
		開所日数	21	18	22	20	17	20	21	20	20	16	18	22	235	10	245	232	18	250	
		延在籍数	24	33	44	40	34	40	42	60	60	37	44	44	502			1,346			
		延利用数	22	27	35	32	27	32	34	52	52	37	44	44	438	18	456	1,288	32	1320	
		分析	一日平均	1.0	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	2.6	2.6	2.3	2.4	2.0	1.9			5.6		
	出席率		91.7%	82%	80%	80%	79.4%	80.0%	81.0%	86.7%	86.7%	100%	100%	100%	87.3%			95.7%			
	継続B型	実在籍(契約)数	31	30	30	30	30	30	30	30	31	31	32	32	32						
		開所日数	21	18	22	20	17	20	21	20	20	16	18	22	235	23	258	232	22	254	
		延在籍数	640	540	660	600	510	600	630	620	620	512	576	704	7,212			6,708			
		延利用数	615	509	630	536	491	581	609	600	580	474	521	622	6,768	237	7,005	6,526	177	6703	
分析		一日平均	29.3	28.3	28.6	26.8	28.9	29.1	29.0	30.0	29.0	29.6	28.9	28.3	28.8			28.1			
	出席率	96.1%	94.3%	95.5%	89.3%	96.3%	96.8%	96.7%	96.8%	93.5%	92.6%	90.5%	88.4%	93.8%			97.3%				

上記のほか、茅ヶ崎養護学校の在校生、相談支援事業所等からの紹介で、22 名が見学、11 名（延べ日数 85 日）が実習を行い、2 名が令和 3 年度中に利用につながり、2 名が令和 4 年度からの利用につながった。

一般就労者は 0 名、個人的な事情により 1 名が退所した。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	9	8	6	3	1	1	1	29
女	2	1	3	1	1	0	0	8
計	11	9	9	4	2	1	1	37

(3) 障害種別

	身体障害							知的障害				
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
就労移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5
就労継続B	4	3	1	0	1	0	9	0	2	12	1	15
計	4	3	1	0	1	0	9	0	2	14	4	20

	精神障害				重複				合計
	1級	2級	3級	小計	身1級	身6級	身4級	小計	
					A1	精3級	B2		
就労移行	0	0	0	0	0	0	0	0	5
就労継続B	0	4	1	5	1	1	1	3	32
計	0	4	1	5	1	1	1	3	37

(4) 障害支援区分

	1	2	3	4	5	6	未取得	計
就労移行	0	0	0	0	0	0	5	5
就労継続B	0	5	1	2	0	0	24	32
計	0	5	1	2	0	0	29	37

(5) 居住地域

	市内	市外	計
就労移行	5	0	5
就労継続B	31	1	32
計	36	1	37

(6) 居住形態

	家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
就労移行	5	0	0	5
就労継続B	24	7	1	32
計	29	7	1	37

(7) 生活支援の概要

障害や状況に応じ、提供する作業種類や作業環境に配慮した。精神障害の方々は疲れやすい傾向にあるので、無理をせず短時間利用を提案した。

新型コロナウイルス感染症対策として、検温・手洗いと手指消毒・換気・施設内消毒を徹底して行った。密を避けるため、利用者の朝礼・終礼を中止、昼食は2グループに分け、職員が黙食支援を行った。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

なし

イ 職場実習

なし

ウ 施設外就労

主な企業名	業務内容	延べ回数	延べ人数
(有)Eザミトリアルビューティー、 茅ヶ崎市など	清掃、除草	219	718

エ 就労支援の概要

コロナ禍で対外的な活動の自粛を余儀なくされたため、今まで以上に、利用者の特性理解、社会性の獲得、職業準備性の向上を積極的に図った。チーム支援会議や関係機関からの求人情報はゼロではないが、マッチングする職種での求人は少なく、応募するには至っていない。結果、令和3年度の就労者は0名となった。

就労後の定着支援では、コロナ禍で巡回の定着支援を受け入れてもらえない企業もあり、回数としては7回(3企業)と前年より少なかったが、大きな問題はなく、当事者と企業の双方に対して課題

の解決に向けた支援を行った。

また、グループワークを（年間 17 回、延べ 108 名）行い、体験実習の募集、求人情報の提供、社会人として必要なマナーの学習、働く動機の確認など、学びの機会を設けた。

（２）作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	軽作業	清掃	印刷	弁当販売	計
平成29年度	7,950,967	3,492,583	7,182,602	2,915,250	21,541,402
平成30年度	8,842,264	2,583,715	1,935,290	149,612	13,510,881
令和元年度	8,691,591	3,476,371	261,200		12,429,162
令和2年度	6,294,487	3,307,066			9,601,553
令和3年度	5,948,284	3,187,023			9,135,307
令和3年度(目標)	8,000,000	3,822,000			11,822,000

イ 平均工賃

単位：円

	年間配分金	月額平均
就労移行	291,562	11,214
就労継続B	6,986,707	20,008
計	7,278,269	

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	コバシ(株)、フジケース(株)、熊澤酒造(株)、(株)大村紙業など
清掃	(有)モザミトータルビューティー、茅ヶ崎市、つつじ学園など

エ 作業支援と工賃の概要

令和 3 年度の売上げは 9,135,307 円で、前年度比 95.1% となり、金額にして 466,246 円減少した。新型コロナウイルスの影響で取引先からの受注が減少し、見込んでいた清掃作業の依頼がなかったことが主な要因である。

月額平均工賃は 20,008 円で、前年度比 102.9% となり、金額にして 580 円増加した。受注量は減少したが、現在の利用者の状況に適した作業量となっている。

5 研修・会議等

（１）研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
高齢者福祉施設等感染予防スタッフ育成研修	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター	3	3	オンライン
神奈川県障害者虐待防止・権利擁護研修	神奈川県障害者自立生活支援センター	5	5	オンライン
神奈川県意思決定支援ガイドライン研修	日本意思決定支援ネットワーク	1	1	オンライン
神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修	シーガル研修・研究機構	3	3	
障害支援区分認定調査員研修	神奈川県	1	1	
計		13	13	

内部会議	主催	日数	延人数
個別支援計画作成会議	赤羽根	15	55
個別支援マニュアル作成会議	赤羽根	14	122
計		29	177

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数	備考
茅ヶ崎市自立支援協議会全体会議	茅ヶ崎市	3	3	対面式は1回のみ
茅ヶ崎市自立支援協議会就労支援部会	茅ヶ崎市	4	4	対面式は1回のみ
就労支援部会コア会議	就労支援部会	7	7	
チーム支援会議	ハローワーク	10	10	
茅ヶ崎市地域福祉計画推進委員会	茅ヶ崎市	2	2	書面
計		26	26	

内部会議	主催	日数	延人数
個別支援計画作成会議	赤羽根	15	55
個別支援マニュアル作成会議	赤羽根	14	122
計		29	177

(3) 職員の派遣

研修会等の名称	依頼元	日数	延人数
地域包括支援センター研修会	茅ヶ崎市高齢福祉介護課	1	1

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
9月30日	23	7	0	30	赤羽根	地震発生を前提とした二次災害「火災」正面玄関前の民家から出火を想定。
3月29日	27	6	0	33	赤羽根	地震発生を前提とした二次災害「火災」正面玄関前の民家から出火を想定。

(2) 利用者アンケート

施設利用への満足度を確認するため、9月に利用者アンケートを実施（回収率 93%：配布 32/回収 30）した。職員の対応や感染症対策について 80%以上の高い満足度を得られたが、作業の種類やお弁当のメニューについての満足度が低かった。

また、祝日も赤羽根を利用したいという希望が半数近くあった。

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数				備考
	利用者	保護者	職員	計	
5月				0	中止
9月				0	中止

(4) 年間行事

実施日	行事内容	備考
5月	保護者懇談会	中止
6月	事業団ふれあい合同スポーツ大会	中止
9月	保護者懇談会	中止
10月	利用者レクリエーション	中止
12月	納め会	中止
2月	保護者面談	

一堂に会しての保護者懇談会は中止となったが、コミュニケーション不足とならないよう保護者面談を実施した。

(5) 車両の運行状況

(キャラバン)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	100	107	195	154	52	93	112	235	130	129	125	108	1,540	128.3
運行日数 (日)	12	11	19	12	9	10	12	17	15	10	14	7	148	12.3
平均走行 距離(km/日)	8.3	9.7	10.3	12.8	5.8	9.3	9.3	13.8	8.7	12.9	8.9	15.4		10.4

(アトラス)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	316	221	239	215	243	314	291	277	190	187	253	142	2,888	240.7
運行日数 (日)	20	13	17	16	13	16	18	18	16	10	15	11	183	15.3
平均走行 距離(km/日)	15.8	17.0	14.1	13.4	18.7	19.6	16.2	15.4	11.9	18.7	16.9	12.9		15.8

(セレナ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	190	276	131	61	251	142	155	139	96	119	73	129	1,762	146.8
運行日数 (日)	11	14	15	9	10	12	14	16	9	6	6	15	137	11.4
平均走行 距離(km/日)	17.3	19.7	8.7	6.8	25.1	11.8	11.1	8.7	10.7	19.8	12.2	8.6		12.9

(エブレイ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	174	165	201	180	141	197	180	185	213	111	156	186	2,089	174.1
運行日数 (日)	21	18	22	19	18	20	21	19	20	15	18	21	232	19.3
平均走行 距離(km/日)	8.3	9.2	9.1	9.5	7.8	9.9	8.6	9.7	10.7	7.4	8.7	8.9		9.0

(ダイナ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	447	327	491	378	175	401	368	518	443	364	430	436	4,778	398.2
運行日数 (日)	19	15	19	18	11	18	20	19	19	15	16	18	207	17.3
平均走行 距離(km/日)	23.5	21.8	25.8	21.0	15.9	22.3	18.4	27.3	23.3	24.3	26.9	24.2		23.1

ふれあい活動ホームあかしあ事業報告（生活介護）

1 基本方針

利用者一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性に応じた支援計画を作成し、利用者が「昨日は楽しかった。今日も楽しい、明日も楽しい一日でありたい。」と思えるような支援を行う。

- （１）利用者はかけがえのない人であるという認識のもと、利用者の自己実現のために利用者の思いや希望を丁寧に読み取り、笑顔で優しく支援を行う。
- （２）利用者は社会の対等の構成者であるという認識のもと、利用者が地域との繋がりを深め、地域でも自分らしい生活を送れるように、利用者の地域行事への積極的参加の支援を行う。

2 令和３年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	体験利用を積極的に受け入れ、あかしあの魅力を発信し、在籍者２１名を確保して、１日当たりの出席者数を伸ばす。	概ね達成できた。 6名の体験利用を積極的に行った結果、2名が入所となった。 在籍者21名の確保は6月に達成したが、その後市外への転居等を理由に18名まで減少したため、1日当たりの出席者数を前年度以上に伸ばすことができなかった。
(2)	新規の生活介護開設に向け、他事業所の見学、具体的な事業内容、施設の要件等を検討する。	達成できなかった。 コロナウィルス蔓延により、積極的に他事業所の見学を依頼することが困難であった。 既存事業所が定員割れのなか、定員充足に注力する必要があるため、今後、新規開設についての基本的な考え方を改めて整理していきたい。

3 利用者の状況

（１）利用状況(代替支援を含む。)

																		前年度		
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数
あかしあ生活介護		実在籍(契約)数	20	20	21	20	20	20	19	19	19	19	19	18						
		開所日数	21	18	22	20	18	20	21	20	20	16	18	22	236	6	242	236	3	239
		延在籍数	420	360	461	400	360	400	399	380	387	304	341	396	4,608			4,366		
		延利用数	354	318	367	319	294	329	337	326	338	266	316	354	3,918	64	3,982	3,999	23	4022
	分析	一日平均	16.9	17.7	16.7	16.0	16.3	16.5	16.0	16.3	16.9	16.6	17.6	16.1	16.6			16.9		
		出席率	84.3%	88.3%	79.6%	79.8%	81.7%	82.3%	84.5%	85.8%	87.3%	87.5%	92.7%	89.4%	85.0%			91.6%		

4月より5年ぶりに新卒者１名が入所した。

上記のほか、養護学校から６名、関係機関から２名が見学を実施し、全ての方が利用実習（延べ日数２７日）を行った。その内２名が年度内より利用開始となった。

その他に近隣市の養護学校から３名の実習を受ける予定であったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止となった。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	4	3	2	1	1	0	0	11
女	3	1	4	2	1	0	0	11
計	7	4	6	3	2	0	0	22

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	1	0	0	0	0	1	5	7	6	0	18

精神障害				重複			合計
1級	2級	3級	小計	身1級 A1	身2級 A2	小計	
0	0	0	0	1	2	3	22

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
0	0	2	8	8	4	0	22

(5) 居住地域

市内	市外	計
21	1	22

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
18	4	0	22

*うち1名は自宅とグループホームを併用

(7) 生活支援の概要

利用者の高齢化や重症化に伴い支援区分も上がっており、個別対応の時間が多くなってきている。落ち着いて活動が行えるよう、定期的に環境設定を見直し机の位置などを変更した。

医療面から利用者像を捉えるため通院に同行し、日中の様子を伝え日々の支援に活かした。また、利用者だけではなく利用者の家族も高齢になってきており、包括支援センターなどの関係機関と連携し、情報の共有に努めた。

毎月の会議では、全利用者の様子を振り返り、支援時に注意する点や家庭の状況などを確認した。

活動面では、木工と機織り以外に畑作業、マット洗い、裂き布畳み、散歩など、活動の幅を広げ、自分の好きな作業を選択できるように取り組んだ。

4 事業内容

(1) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	自主製品	軽作業	計
平成29年度	1,314,618	0	1,314,618
平成30年度	1,199,003	2,990	1,201,993
令和元年度	1,109,906	17,691	1,127,597
令和2年度	385,690	57,320	443,010
令和3年度	541,420	43,180	584,600
令和3年度(目標)	1,150,000	50,000	1,200,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
387,000	1,697

ウ 作業支援と工賃の概要

工賃は1日出席ごとに100円支給した。コロナウィルスにより、地域のお祭りが全て中止となったが、年度後半より茅ヶ崎市内で委託販売を実施することになり、SNSを通じて自主製品（特にマット）の売り上げが向上した。

機織り、木工のほかに、マット洗い、裂き布畳み、刺繍、書道、散歩など、活動の幅を広げ、自分の好きな作業を選択できるように取り組んだ。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
自宅で暮らす～ひとりで暮らす～	茅ヶ崎寒川地区自閉症児・者親の会	1	1	オンライン
障がい者と親の高齢化	ぜんち共済株式会社	1	1	オンライン
障害者差別解消法講演会	神奈川県障害者社会参加推進センター	1	1	オンライン
地域と共に考える障がい福祉と芸術文化	神奈川県障がい者芸術文化活動支援センター	1	1	オンライン
計		4	4	
内部研修	主催	日数	延人数	
自閉症スペクトラムについて	あかしあ	1	11	
不安が強い子への支援～感覚統合～	あかしあ	1	11	
計		2	22	

(2) 会議

研修会名	主催	日数	延人数
ケース会議	とれいん	2	3
ケース会議	茅ヶ崎養護学校	3	3
計		5	6

(3) 職員の派遣

研修会等の名称	依頼元	日数
ふれあい活動ホームあかしあについて	松浪地区社会福祉協議会	1

(4) あかしあネットワーク会議

実施日	参加人数					備考
	地域	団体	行政	事業団	計	
7月						中止

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
10月15日	16	7	0	23	あかしあ玄関前	火災（消火・避難訓練）
1月13日	17	7	0	24	あかしあ玄関前	地震（避難訓練）

(2) 利用者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、3月に利用者アンケートを実施（アンケート回収率83%：配布18件/回収15件）し、支援計画の内容について72.2%、職員の対応について平均81.4%の満足度を得られました。

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数				備考
	利用者	保護者	職員	計	
4月					中止
8月					中止
2月					中止

(4) 年間行事

実施日	行事内容	備考
4月	花見	中止
5月	防災避難訓練・歩き遠足	中止
6月	事業団スポーツ大会・防犯避難訓練	中止
	茅作連ふれあい作品展	中止
8月	すいか割り	
9月	あかしあまつり	中止
9/1～28	利用者個別面談、保護者面談	
	茅ヶ崎・寒川障害者作品展示即売会	中止

10月		テラスモール散策・エアロビ	中止
		松浪地区福祉ふれあいまつり	中止
		赤い羽根共同募金街頭キャンペーン	中止
11月		引き渡し訓練・歩き遠足	中止
12月		茅作連ふれあい作品展	中止
		障害者週間街頭キャンペーン	作品のみ提供
12月10日		茅作連ふれあい交流会	
12月28日		お楽しみ会・大掃除	
1月		新年交歓会・エアロビ	中止
2月		ボーリング大会	中止
2/25～28		茅ヶ崎・寒川障害者作品展示即売会	
3/1～30		利用者個別面談・保護者面談	
		公共交通機関遠足	中止
		小和田公民館まつり	中止

コロナ禍により、通常の行事はほぼ中止となったが、感染対策を徹底しながら季節の行事（スイカ割り、豆まきなど）を企画し、楽しんでもらうことができた。

（５）車両の運行状況

（セレナ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	882	679	825	741	630	705	773	873	793	575	674	833	8,983	748.6
運行日数 (日)	21	18	22	20	18	20	21	21	20	15	19	22	237	19.8
平均走行 距離(km/日)	42.0	37.7	37.5	37.1	35.0	35.3	36.8	41.6	39.7	38.3	35.5	37.9		37.9

（サンバー）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	158	265	407	397	348	427	501	337	504	443	470	558	4,815	401.3
運行日数 (日)	10	12	19	20	12	17	19	13	19	15	14	19	189	15.8
平均走行 距離(km/日)	15.8	22.1	21.4	19.9	29.0	25.1	26.4	25.9	26.5	29.5	33.6	29.4		25.5

（６）教育実習生の受け入れ

９月と１１月に３名（延べ日数１３日）の教育実習生を受け入れた。

ふれあい活動ホーム第2あかしあ事業報告（就労継続B型）

1 基本方針

障害のある方が、働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援する。利用者の個性や障害特性を尊重した、心のかよいあうサービスを基本とした施設運営に努めていく。

2 令和3年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	ふれあい活動ホーム赤羽根との連携による効率的な作業確保と、必要に応じての新規作業開拓を行うことで、月額平均工賃を10,000円以上とする。	達成できた。 月額平均工賃は11,268円となり、前年度の10,767円を上回った。 既存取引先の別部門からの受注を開始したこと、以前取引のあった企業と取引再開に成功したこと、既存取引先の受注量がコロナ禍以前に戻りつつあることで、売上げは前年度比107.2%となった。
(2)	欠席が多い利用者に対する支援をこれまで以上に強化して出席日数を増やすことと、在籍者数を増やすことにより、1日当たり出席者数を24名以上とする。	達成できなかった。 1日当たり出席者数は21.3名となり、前年度の21.6名とほぼ変わらなかった。 欠席が多い利用者1名については出席日数を増やすことができたが、次の2つの理由により1日当たり出席者数が伸びなかった。①年度途中の退所者はいなかったが、4月時点で高齢のため実質的に退所状態にあった利用者が1名いたことで、実質的な在籍者数が前年度より減少した。②入所者は、1月に1名いたが、週1日の利用であった。

3 利用者の状況

(1) 利用状況(代替支援を含む。)

																	前年度		
第2 あ かし あ B 型	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数
	実在籍(契約)数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	27	27	27						
	開所日数	21	18	22	20	17	20	21	20	20	16	18	22	235	4	239	236	3	239
	延在籍数	546	468	572	520	442	520	546	520	520	431	486	594	6,165			6,054		
	延利用数	457	364	442	396	374	437	456	425	431	341	399	476	4,998	58	5,056	5,102	40	5,142
分析	一日平均	21.8	20.2	20.1	19.8	22.0	21.9	21.7	21.3	21.6	21.3	22.2	21.6	21.3			21.6		
	出席率	83.7%	77.8%	77.3%	76.2%	84.6%	84.0%	83.5%	81.7%	82.9%	79.1%	82.1%	80.1%	81.1%			84.3%		

上記のほか、茅ヶ崎養護学校の在校生、相談支援事業所からの紹介等で、9名が見学、6名（延べ日数39日）が実習を行い、1名が令和3年度中に利用につながり、1名が令和4年度からの利用につながった。年

度末に2名が退所した。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	6	1	4	8	1	1	0	21
女	0	0	2	2	1	1	0	6
計	6	1	6	10	2	2	0	27

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	1	0	0	0	0	1	1	5	10	4	20

精神障害				重複					合計
1級	2級	3級	小計	身1級 B2	精2級 A2	精3級 B1	身3級 精3級	小計	
0	2	0	2	1	1	1	1	4	27

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
1	1	7	2	1	0	15	27

(5) 居住地域

市内	市外	計
26	1	27

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
18	7	2	27

(7) 生活支援の概要

不安や不満の蓄積により欠席につながりやすい利用者に対して、作業終了後にお話を伺い助言する時間を定期的に設けることで、出席日数を増やすことができた。

体重が増加傾向にある利用者や、家族の支援が不十分な利用者に対して、食生活の助言や医療受診を勧めるなど、利用者個々の状況に応じた支援を行った。

新型コロナウイルス対策として、生活全般での手洗い・消毒・外出に関する助言、事業所内での黙食の支援を行ってきたが、事業所内での陽性者の発生以降は、茅ヶ崎市保健所からの助言により感染対策をいっそう強化し、感染拡大リスクの低減を図った（職員立ち合いによる朝の検温及び手指消毒、更衣室の入室人数制限、食事前後の手指及びテーブル消毒の徹底等）。

濃厚接触者に指定され自宅待機となった利用者には、毎日電話連絡し心身状態の確認及び必要な助言を行い、安心して過ごせるよう配慮した。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

なし

イ 職場実習

なし

ウ 施設外就労

なし

エ 就労支援の概要

就労希望者に対し、自立支援協議会の取り組みである「企業体験実習」への参加を促した。実習は新型コロナウイルスの感染者急増のため延期となったが、就労に関して利用者自身が考えを深める機会となった。

カフェドットコムを3名、カフェサザンポを1名が訓練生として利用し、工賃向上に寄与したほか、身だしなみへの意識が高まるなどの変化があった。

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	軽作業	清掃	計
平成29年度	3,805,276	158,865	3,964,141
平成30年度	2,954,611	236,317	3,190,928
令和元年度	3,483,085	235,333	3,718,418
令和2年度	3,075,483	235,331	3,310,814
令和3年度	3,308,299	241,822	3,550,121
令和3年度(目標)	4,000,000	254,000	4,254,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
3,287,850	11,268

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	コンポー(株)、住友電工オブティフロンティア(株)、(株)ワンワールド、熊澤酒造(株)、高野商店、やまと紙器(株)、湘南きのこ、湘南スプリング(株)、ふれあい活動ホーム赤羽根
清掃	ふれあい活動ホーム第2あかしあ

エ 作業支援と工賃の概要

令和3年度の売上げは3,550,121円で、前年度比107.2%となり、金額にして239,307円増加した。売上げの増加に伴い、平均工賃も501円増加した。売上げが増加した理由としては、既存の取引先の別部門からの受注を開始したこと、以前取引のあった企業との取引再開に成功したことのほか、令和

2年度が新型コロナウイルス感染症による影響で受注量が少なかったことが挙げられる。

5 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
てんかん基礎講座	日本てんかん協会	1	1	オンデマンド配信
強度行動障害対策研修 公開講座人権擁護研修	中井やまゆり園	1	1	オンライン
神奈川県意思決定支援ガイドライン研修	日本意思決定支援ネットワーク	1	1	オンライン
計		3	3	

内部研修	主催	日数	延人数
てんかん基礎講座の伝達会	第2あかしあ	1	6
意思決定支援ガイドライン研修の伝達会	第2あかしあ	1	7
虐待防止研修	第2あかしあ	1	7
計		3	20

(2) 会議

会議	主催	日数	延人数	備考
茅ヶ崎市障害者保健福祉計画推進委員会	茅ヶ崎市	1	1	書面会議

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
9月24日	16	6	0	22	給湯室	地震後火災発生 (通報・避難・消火訓練)
3月23日	19	6	1	26	給湯室	地震後火災発生 (通報・避難・消火訓練)

(2) 利用者アンケート

施設利用への満足度を確認するため、8月に利用者アンケートを実施（回収率95.8%：配布24/回収23）した。

感染症対策、職員の対応、支援計画については80%以上の満足度を得られたが、作業の種類や量、お弁当のメニュー、サービスへの総合満足度については70%以下の満足度であった。

ご意見・ご要望は個人的な記載が多く、総合満足度の向上への手掛かりを見つけるのは難しかった。

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数				備考
	利用者	保護者	職員	計	
5月				0	中止
10月				0	中止

(4) 年間行事

実施日		行事内容	備考
6月		事業団ふれあい合同スポーツ大会	中止
6月		十間坂地区防災訓練	中止
7月		保護者面談	実施
8月		十間坂納涼祭	中止
10月		茅ヶ崎地区防災訓練	中止
1月19日	水	お楽しみ新年会	飲食なしで実施
1月		日帰りレクリエーション	中止
2～3月		保護者面談	実施

新型コロナウイルスの影響により保護者懇談会を含む多くの行事が中止となったが、保護者との連携を保つため、保護者面談は予定どおり実施した。

(5) 車両の運行状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	143	92	81	110	71	76	145	140	149	89	137	79	1,312	109.3
運行日数 (日)	13	9	9	10	7	8	14	14	13	8	14	7	126	10.5
平均走行 距離(km/日)	11.0	10.2	9.0	11.0	10.1	9.5	10.4	10.0	11.5	11.1	9.8	11.3		10.4

1 基本方針

利用者が地域において共同して、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ及び食事等の介護並びに相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行う。一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供する。

2 令和3年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	利用者が安心して過ごせるように、生活支援員の勤務時間をずらすなどして、こまめに利用者の話を聞く時間を作り、居心地のよいグループホームを目指す。	達成できた。 生活支援員の勤務時間を週2日11：00～19：45とした。各事業所へ定期的に訪問し、これまで世話人を通して利用者の話を聞いていたが、直接聞くことができ、利用者の安心にもつながった。
(2)	現場の困りごとなど、適宜共有し、利用者の様々な特性を理解するために、世話人会議での内部研修を年4回実施する。また、外部研修の受講も積極的に行う。	概ね達成できた。 世話人会議で、日頃から疑問に思っている利用者の行動を理解するために、感覚過敏や発達障害などの障害特性についての研修を行い、日々の支援に活かした。外部研修では、オンラインで受講したものを、内部研修で共有した。
(3)	重度の知的障害の方を対象としたグループホームを見学し、開設を検討するにあたっての課題を洗い出す。	達成できなかった。 2名サテライトへ移動、1名転居し、空室が3名となった。まずは、定員を補充することに重点を置いたため、新規のグループホームの検討には至らなかった。しかし、区分5の方の体験利用を行うことで、重度の方の受け入れについてイメージすることができた。

3 利用者の状況

(1) 利用状況

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
あ っ と ほ ー む	G H	実在籍(契約)数	17	17	17	17	17	18	18	18	17	17	17	17		
		開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365
		延利用数	475	482	485	497	477	495	510	492	473	457	439	488	5,770	5,596
		分析 一日平均	15.8	15.5	16.2	16.0	15.4	16.5	16.5	16.4	15.3	14.7	15.7	15.7	15.8	15.3

5月に松が丘より1名、10月に小和田より1名サテライトへ移動、11月に小和田より1名が転居と

なった。

3名の体験利用（延べ12日）があり、そのうち1名が松が丘へ入居となった。

年度途中で区分2から4へ変更となった方が2名いた。発達障害の方が、共同生活を送る上で困難な場面が見られ、お互いの障害の理解を進める必要がある。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	4	0	3	0	1	0	0	8
女	6	1	2	0	1	0	0	10
計	10	1	5	0	2	0	0	18

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	7	15

精神障害				重複			合計
1級	2級	3級	小計	身1級 A1	精2級 B2	小計	
0	0	1	1	1	1	2	18

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
3	6	2	6	0	0	1	18

(5) 日中活動の場

就労	法人外 事業所	法人内 事業所	計
8	3	7	18

(6) 生活支援の概要

サテライトが4か所となったが、これまで通り定期的な訪問をし、食事提供や掃除チェック、就労先の相談などのフォローを行った。

利用者1名が、体調不良により仕事を退職することになり、就労継続B型へ移行となった。こまめに相談を受けながら、適した就労先をめざし、養護学校や就労援助センターなどと連携を行った。

4 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数	備考
令和3年度報酬改定について	神奈川県	1	1	オンライン
障害者差別解消法講演会	神奈川県障害者社会参加推進センター	1	1	オンライン
虐待が生まれない事業所をめざして	神奈川県障害者自立生活支援センター	1	1	オンライン
計		3	3	

内部研修	主催	日数	延人数
虐待防止について	あっとほーむ	3	12
自閉症について	あっとほーむ	3	10
感覚統合について	あっとほーむ	3	11
県内グループホーム事例集より 支援方法について	あっとほーむ	3	10
計		12	43

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市自立支援協議会 くらしの安心部会	生活相談室とれいん	3	3
ケース会議	障がい福祉課	2	2
ケース会議	えぼしライン	2	4
ケース会議	茅ヶ崎養護学校	2	2
計		9	11

内部会議	日数	延人数
世話人会議（小和田）	7	28
世話人会議（松が丘）	8	49
世話人会議（高田）	10	55
計	25	132

5 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	場所	想定
10月5日	5	1	0	6	あっとほーむ高田	災害時の非常食体験
10月14日	4	1	0	5	あっとほーむ小和田	災害時の非常食体験
10月21日	5	1	0	6	あっとほーむ松が丘	災害時の非常食体験
3月18日	3	1	0	4	小和田小学校	大地震（小和田）
3月24日	4	1	0	5	浜須賀中学校	大地震（松が丘）
3月28日	2	1	0	3	円蔵中学校	大地震（高田）

(2) 年間行事

実施日		行事内容	備考
12月24日	金	クリスマス会	

コロナ対策を徹底しながら、各事業所で誕生会やクリスマス会など行い、交流を図った。

相談支援センターつみき事業報告
(茅ヶ崎市相談支援、指定障害児相談支援、指定特定相談支援)

1 基本方針

障害のある児・者及び保護者等の意思を尊重し、基本的人権を享有する個人として、その尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援する。また、障害のある児・者の意思及び人格を尊重し、抱えている課題の解決や適切なサービス利用に向け、関係各機関や福祉サービス提供事業所等と連携しながら支援を行っていく。

2 令和3年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	実質的な支援を充実するため、記録の簡素化、PC内データの整理、紙データ保管方法の変更などにより事務的な作業の効率化を図る。	概ね達成できた。 計画書等、ケースに関係する記録については要点を絞った内容にして極力簡素化した。PC内のデータについては内容が古いものや今後使用する見込みのないものを大幅に削除した。またPDFでの保存を活用し、紙での保存を減らす取り組みも行った。
(2)	モニタリング加算について年間で8件以上に請求に上げていく。	達成できた。 児童と成人で合わせて21件請求に上げることができた。
(3)	法人内の認定調査員有資格者を令和3年度にさらに1名増やす。また、つみき所属以外の有資格者による調査件数が年間で10件以上となるようサポートする。	達成できた。 認定調査員についてはつみきの新採用職員も含め、法人内で新たに2名増やすことができた。つみき所属以外の有資格者による調査は10件行うことができた。

3 事業内容

(1) 相談支援の実施状況内訳

表1 参照

(2) 主な相談内容と特徴

- ・放課後等デイサービスなど、児童系のサービスの利用調整に関する相談が大多数を占めている。
- ・被虐待リスクがあり、なおかつ発達特性がある児について、その保護者や市障がい福祉課、家庭児童相談室から福祉サービスの利用等について相談を受けることがあった。
- ・家族支援も必要なケースについては、関係機関が集まったのケース会議や電話等による連携を数多く行った。
- ・学校への行き渋りや不登校の児童で、発達特性がある児について保護者から継続相談を受けてきた。それらの相談に対しては面談や電話相談等を実施し、本人・家族の孤立を防ぐための支援を行った。ケースによっては外出や余暇の過ごししの時間を共にし、家族以外の人との接点を持つ機会を作った。

・児童発達支援、放課後等デイサービスともに新しい事業所が市内や隣接市町にでき、それら事業所の利用についての相談も多く入った。

・家族による適切な養護が行われず、市外に入所となった成人のケースに対し、入所施設への訪問や成年後見人との繋がりを持ち、継続的な支援を実施した。

(3) 障害児支援利用計画及びサービス等利用計画の作成件数

区分	障害児(18歳未満)			障害者(18歳以上)		
	利用計画	継続 利用計画	モニタリング 加算	利用計画	継続 利用計画	モニタリング 加算
3年度	19	20	14	5	6	7
2年度	16	30	13	3	12	7

(4) 認定調査の件数

3年度	70
2年度	45

4 研修・会議等

(1) 研修

外部研修	主催	日数	延人数
不登校の支援と将来への準備	株式会社 LITALICO ライフ	1	2
サービス管理責任者・ 児童発達支援管理責任者更新研修	かながわ障がいケアマネジメント 従事者ネットワーク	1	1
第1回茅ヶ崎市成年後見支援 ネットワーク勉強会	茅ヶ崎市福祉部福祉政策課	1	1
地域包括支援センター職員向け人材育成 研修会「障がい福祉について」	茅ヶ崎市福祉部高齢福祉課	1	1
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 言語聴覚学科聴講	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	1	2
意思決定支援ガイドライン研修	一般社団法人 日本意思決定支援ネットワーク	1	1
障害支援区分認定調査員研修	神奈川県	1	1
発達性ディスレクシア研修	大磯小学校PTA	1	2
意思決定支援研修	神奈川県湘南東部障害保健福祉圏域地域生活 ナビゲーションセンター	1	1
相談支援専門員スキルアップ研修	神奈川県湘南東部障害保健福祉圏域地域生活 ナビゲーションセンター	1	2
障害福祉サービス等報酬改定概要説明会	特定非営利活動法人 藤沢相談支援ネットワーク	1	1
信州大学子どものこころ診療部セミナー 「子どものトラウマの理解とケア」	信州大学子どものこころ診療部	1	1
法人後見担当者現任研修 「身寄りのない方を地域で支える」	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会	1	1

早期療育普及研修	神奈川県立総合療育相談センター	1	1
計		14	18

(2) 会議

外部会議	主催	日数	延人数
茅ヶ崎市自立支援協議会 代表者会議	茅ヶ崎市	3	3
茅ヶ崎市自立支援協議会 運営会議	茅ヶ崎市	6	6
茅ヶ崎市自立支援協議会 つながり支援部	相談支援センターつみぎ	3	3
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	1	1
湘南東部障害保健福祉圏域 自立支援協議会	地域生活ナビゲーションセンター	3	3
相談支援専門員のスキルアップに関する ワーキング	地域生活ナビゲーションセンター	3	3
茅ヶ崎市地域生活支援拠点整備連絡会	茅ヶ崎市	1	1
茅ヶ崎市障害者差別解消支援地域協議会	茅ヶ崎市	1	1
基幹相談支援センター連絡会	茅ヶ崎市	4	4
児童関係機関との意見交換会	茅ヶ崎市	1	1
計		26	26

5 その他

(1) 車両の運行状況

(エブリイ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	70	86	133	159	140	151	121	148	144	82	69	151	1,454	121.2
運行日数 (日)	6	7	12	12	8	12	13	11	11	8	6	11	117	9.8
平均走行 距離(km/日)	11.7	12.3	11.1	13.3	17.5	12.6	9.3	13.5	13.1	10.3	11.5	13.7		12.4

表 1

相談支援の実施状況（内訳）

1 利用者の状況

相談形態	電話	来所	訪問	その他	計
	2,065	134	79	175	2,453

相談者	本人	家族・親戚	その他機関等	計
	56	948	1,449	2,453

地 域	茅ヶ崎	その他地域	計
	261	5	266

障害種別	身体	知的	精神	発達	高次脳	その他	計
	4	29	5	199	0	29	266

- ・相談件数は前年を上回る数となった。昨年度と同様にコロナ禍での相談支援となり、対面ではなく電話やメールによる相談も引き続き多かったが、訪問や面談の件数が少しずつ増えてきた様子があった。
- ・市外地域からの相談については、茅ヶ崎への転入予定者やその支援者が転入後のサービス利用についての相談である。
- ・「つみき」がこれまで児童の支援を多く行ってきたこともあり、今年度の相談対象者も児童が大半を占めている。
- ・障害種別は発達障害が大半を占めているが、この中には知的障害（療育手帳のある児者）も含まれている。また、はっきりとした診断のない児も含まれている。
- ・近年、児童系の関係機関と顔の見える関係を作ってきたこともあり、関係機関からの相談も増えている。

2 利用実績

事業項目		年間相談計（件）
(1)市町村相談支援機能強化事業		273
(2)障害者相談支援事業		2,200
(内 訳)	(ア)福祉サービスの利用援助(情報提供、相談等)	1,603
	(イ)社会資源を活用するための支援	363
	(ウ)社会生活力を高めるための支援	7
	(エ)ピアカウンセリング	0
	(オ)権利の擁護のために必要な援助	0
	(カ)専門機関の紹介	3
	(キ)自立支援協議会の部会の運営	20
	(ク)上記以外の相談	204

* (キ)の件数は、上表「利用者の状況」の件数に含まれていません。

ぐっじょぶ矢畑事業報告（就労継続 B 型）

1 基本方針

障害のある方が、働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供します。

生産活動を通して、働くことの楽しさや大切さ、それぞれが協力して製品を完成させる達成感を感じていただき、生活意欲の向上へ繋がるような支援を行います。

2 令和 3 年度重点目標の達成状況と評価

	重点目標	達成状況と評価
(1)	月額平均工賃を5,000円以上とする。	達成できなかった。 月額平均工賃は3,191円となり、前年度の3,264円を下回った。 コロナ禍の影響もあるが、メインである高野商店からの収入が前年度比74,135円の減少となり、ふれあい活動ホーム赤羽根からの収入が16,225円の減少となった。
(2)	在籍数を定員20名に近づけ、1日当たりの出席数を17人以上とする。	達成できなかった。 新規利用者2名の利用があったが、年度途中で2名が退所した。身体的な疾病による入院、精神的な理由による欠席があり、1日当たりの出席数は14.1名であった。

3 利用者の状況

(1) 利用状況（代替支援を含む。）

																		前年度		
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	臨時開所	総数	計	臨時開所	総数
ぐっじょぶ矢畑	継続B型	実在籍(契約)数	18	18	17	17	16	17	17	17	17	17	17	17						
		開所日数	21	18	22	20	17	20	21	20	20	16	18	22	235	10	245	236	9	245
		延在籍数	378	324	374	340	272	338	357	340	340	272	306	374	4,015			4,232		
		延利用数	310	246	294	276	237	292	304	284	294	225	244	310	3,316	92	3,408	3,458	102	3560
	分析	一日平均	14.8	13.7	13.4	13.8	13.9	14.6	14.5	14.2	14.7	14.1	13.6	14.1	14.1			14.7		
出席率		82.0%	75.9%	78.6%	81.2%	87.1%	86.4%	85.2%	83.5%	86.5%	82.7%	79.7%	82.9%	82.6%			81.7%			

4 月より茅ヶ崎養護学校から 1 名が利用を開始し、5 月末に 1 名、7 月末に 1 名が退所となった。9 月に相談支援事業所の紹介で 1 名が利用を開始した。

(2) 年齢・性別

性別\年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男	10	2	2	1	2	0	0	17
女	0	0	1	1	0	0	0	2
計	10	2	3	2	2	0	0	19

(3) 障害種別

身体障害							知的障害				
1級	2級	3級	4級	5級	6級	小計	A1 最重度	A2 重度	B1 中度	B2 軽度	小計
1	1	1	0	1	0	4	0	7	4	2	13

精神障害				重複			合計
1級	2級	3級	小計	身1級 A1	精2級 B2	小計	
0	2	0	2	0	0	0	19

(4) 障害支援区分

1	2	3	4	5	6	未取得	計
0	2	5	4	2	0	6	19

(5) 居住地域

市内	市外	計
19	0	19

(6) 居住形態

家族等 と同居	グループ ホーム	一人 暮らし	計
13	5	1	19

(7) 生活支援の概要

利用者支援マニュアル、内部研修、終礼を活用し、障害特性の理解、共有をしてそれぞれの利用者が落ち着いて過ごせるように包括的な支援をした。また、障害特性だけでは解らないそれぞれの個性を把握し情報を共有した。

家庭の状況や利用者自身の高齢化に伴い、生活状況の把握やグループホームの利用検討、介護施設への利用移行など、関連機関とのケア会議を重ねながら包括的な支援をした。

新型コロナウイルス感染対策として飛沫防止パネルの設置、毎朝の検温、手洗い、消毒の徹底をした。利用者行事が中止となる中、事業所内で年末にお楽しみ会を開催し、ストレス軽減、発散することができた。

4 事業内容

(1) 就労支援

ア 企業就労

なし

イ 職場実習

なし

ウ 施設外就労

なし

(2) 作業支援

ア 経年の収入状況

単位：円

年度\作業種別	軽作業
平成29年度	1,067,865
平成30年度	1,121,914
令和元年度	1,136,142
令和2年度	768,103
令和3年度	681,523
令和3年度(目標)	1,044,000

イ 平均工賃

単位：円

年間配分金	月額平均
548,794	3,191

ウ 主な取引先

作業種別	取引先
軽作業	高野商店、ふれあい活動ホーム赤羽根、寒川紙業

エ 作業支援と工賃の概要

高野商店からの受注を基本としながら、ふれあい活動ホーム赤羽根からの受注で補い、ふれあい活動ホームあかしあの協力の元、自主制作品を作成、販売して工賃アップを目指した。

5 研修・会議等

(1) 研修

内部研修	主催	日数	延人数
個別支援マニュアル作成会議	ぐっじょぶ矢畑	2	10
個別支援計画検討会議	ぐっじょぶ矢畑	2	10
発達障害の方の励まし方	ぐっじょぶ矢畑	1	5
自閉症スペクトラム・行動障害のある方への支援方法	ぐっじょぶ矢畑	1	5
障害者の権利擁護について	ぐっじょぶ矢畑	1	5
施設内部研修	ぐっじょぶ矢畑	5	25
計		12	60

(2) 会議

会議	主催	日数	延人数
ケア会議	元町の家	5	20
ケア会議	ぐっじょぶ矢畑	2	6
ケア会議	ぐっじょぶ矢畑	2	6
計		9	32

6 その他

(1) 防災

実施日	参加人数				訓練内容	
	利用者	職員	その他	計	出火想定場所	想定
9月30日	9	6	1	16	1階作業室	地震（避難訓練）
3月30日	10	6	0	16	2階事務局	地震、火災（消火・避難訓練）

(2) 利用者アンケート

施設の利用者または保護者が施設利用に満足いただいているかを確認するため、8月に利用者アンケートを実施（アンケート回収率 100%：配布 16 件/回収 16 件）し、支援計画の内容について平均 81.3%、職員の対応について平均 84.4%の満足度を得られました。

(3) 保護者懇談会

実施日	参加人数				備考
	利用者	保護者	職員	計	
9月				0	中止
3月				0	中止

*なお、希望制による個別面談を実施した。

(4) 年間行事

実施日	行事内容	備考
6月	事業団スポーツ大会	中止
10月	利用者レクリエーション	中止
12月24日	金 年末お楽しみ会	臨時的に実施

新型コロナウイルスの影響で定期的な行事が中止となる中、利用者の楽しみの一つとして年末お楽しみ会を昨年度から臨時的に実施し、ゲームや茶話会を行った。

(5) 車両の運行状況

(キャリアイ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
走行距離 (km)	173	31	56	127	157	105	156	238	157	111	145	112	1,568	130.7
運行日数 (日)	14	3	6	12	13	10	11	16	13	9	12	11	130	10.8
平均走行 距離(km/日)	12.4	10.3	9.3	10.6	12.1	10.5	14.2	14.9	12.1	12.3	12.1	10.2		12.1